BCLカンパニー

ヘアドライヤーで美容家電市場に新規参入

スキンケア発想の高保水ドライヤー「マスターモイスト」を今夏発売

スタイリングライフ・ホールディングスBCLカンパニーは、同社初の美容家電シリーズ「MASTER MOIST（マスターモイスト）」を立ち上げ、8月5日よりスキンケア発想の高保水ドライヤー「マスターモイスト ヘアドライヤー イオニス」（全2色（ライトグレー・アイボリー）各3万9600円）を公式ブランドサイト、一部外部ECサイト、蔦屋家電などで発売する。

今回の「マスターモイスト」は、同社の新規事業開発部が昨夏から開発に着手し、2024年4月に発売した夜の美容プロテイン「オヤスミタンパク」と、25年4月に発売したインナービューティー「インコスメ」に続く新規事業の第3弾シリーズとして誕生した。

BCLの代表的な商品である朝用シートマスク「サボリーノ」を開発したメンバーの1人で、今回のマスターモイストの開発も担当した同部次長の大小原碧里（だいこはらみどり）氏は、開発の背景や狙いについて「BCLではシャンプーやヘアオイルなど、ヘアケアにまつわる商品はこれまでもあったが大きなヒットがなかった。当社として、そこを補う親和性のある新たな商品を模索する中で、男女分け隔てなく毎日寄り添うアイテムとしてヘアドライヤーに辿り着いた。しかし、ヘアドライヤーに関しては普段何となく髪を乾かし、生乾きのままで終わらせている人が多いことが調査で明らかとなった。そこで、マスターモイストの開発にあたっては、髪が本来持つ理想的な水分量13～15%に着目し、自宅で誰でも簡単にサロンで仕上げたような髪を実現するため、美容師が行っているような髪や頭皮に合わせた適切な温度や風量、時間で乾かすプロのブロースキルをボタン1つの簡単操作で自動的に再現する商品設計にこだわった。独自のプログラミングによって開発したオートマモード（おまかせ速乾美髪モード／おまかせケア美髪モード）の搭載により、化粧品会社ならではのスキンケア発想で髪の潤いを守りながら、ツヤのある髪へと導く。BCLとしては初の耐久消費財で、1万円を超える今までにない価格帯の商材であり、当社にとっても非常に大きなチャレンジとなった」と語る。

マスターモイストは、選択しているモードや風量、温度がひと目でわかる液晶ディスプレイを採用。モードは、大風量で素早く乾かしながら、自動で温風と冷風を繰り返してツヤ髪に仕上げる7分間の「おまかせ速乾美髪モード」と、熱によるダメージを抑え、自動で中温風と冷風を繰り返し、キューティクルを整える「おまかせケアモード」、自動で温風と冷風を数秒ごとに切り替えながら乾かし、髪の潤いを保つ「モイストスイングモード」、敏感な頭皮を低温でやさしく心地よく乾かす「スカルプケアモード」、温風／中温風／冷風、高速風／低速風を自由に選択可能な「カスタムケアモード」の5つから選択できる。

使用中はマイナスとプラスの電気を帯びたプラズマイオンを常時放出し、イオンバランスを保ち乾燥しやすい髪に潤いを与えながらキューティクルを引き締めてツヤを引き出し、髪と頭皮を健やかな状態にする。本体質量は450gと軽量で、落下等で急に手から離れたときに自動停止するセーフティーセンサー機能も搭載している。

「ドライヤーが重いと毎日面倒に感じてしまうが、マスターモイストは500mLのペットボトル1本よりも軽く使い続けやすい。また、自動のオートマモードとセーフティーセンサー機能を搭載しているので、小さなお子様でも安心して使える。ここ数年、商品の高付加価値化によって伸長を続ける美容家電市場において、ヘアドライヤーのカテゴリーで中価格帯に位置するマスターモイストは、自宅用だけでなくギフト需要も取り込んでいきたい。また、BCLが得意とする化粧品のカテゴリーにおいて、髪の水分量にアプローチするものであれば、将来的にマスターモイストの商品として新たに展開する可能性もある」（大小原氏）

The Voice

日本化粧品株式会社
代表取締役社長

北原　邦子　氏

創業125年の伝統と信頼が紡ぐ「北原美顔」の美容哲学

日本化粧品は、1901年（明治34年）に北原氏の祖父・北原十三男（とみお）氏によって設立され、今年で創業125年目の節目を迎えた。

東京・神田にある自社ビルには、千代田区で唯一の化粧品工場があり、創業当初から受け継がれてきた製法と厳選した高品質の国産原料を用いて調整から充填、検品、包装・梱包までのライン製造を自社一貫で行っている。

「私たちは利潤追求を第一とする企業と一線を画し、外部に製造を委託することなく、目が行き届く環境下で手作りしたできたての化粧品を、お客様一人ひとりに心を込めてお届けしている。これまで125年にわたり、丁寧に誠実に品質を守り抜いてきたことが信頼と安心の礎となり、何代にもわたって北原化粧品を使い続けていただいている」

自社ビルにはこのほか、北原氏が院長として自ら率先して施術を行っているサロン「北原美顔」がある。

日本におけるエステティックの元祖ともいえる北原美顔は、1分間に数千回転の振動を肌に与え、毛穴や表情筋を引き締めるバイブトリートメントと、真空状態の機械からエアーを吸引・放出し、肌の再生を促して傷跡やニキビ跡が目立たない肌へ導くエアートリートメントを用いた独自のエステティックだ。

「大正時代に祖父の十三男が開発した美容機器は、主な機能をほぼ当時から保ったまま現代に引き継がれている。これは、時代は変われど人の肌が美しくなる摂理は変わらないことを物語っている。温故知新の精神を土台として流行に左右されず、肌本来の力を引き出す北原美顔の伝統的なケアは、今なお多くの人々から信頼され続け、肌を商売道具とする著名な芸能人の方々にも支持されている。サロンでお客様と直接対話して肌状態を深く理解し、個々の肌不調に応じたきめ細やかな説得力のあるアドバイスを行うことで、『北原に行けば間違いない』といった信頼につながり、紹介の輪が広がり続けている」（之）

ライオン

CDPから最高評価を6年連続で獲得

ライオンは、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPから、「サプライヤー・エンゲージメント評価」にて最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に6年連続で選定された。

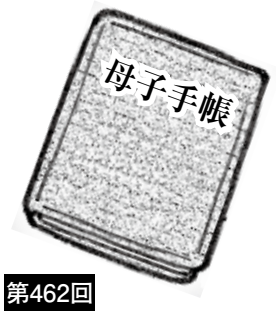
同社グループは、「サステナブルな地球環境への取組み推進」を最重要課題の1つとして位置づけ、2019年6月に策定した長期目標「LION Eco Challenge 2050」を戦略の中心に据えた上で、環境フレンドリー製品の提供、共同物流など、ステークホルダーと協働しながら、製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に積極的に取り組んでいる。

「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、サプライチェーン全体の温室効果ガス削減を推進する取り組みの一環として、気候変動問題に対する企業のサプライチェーンへの働きかけを評価する指標で、CDP気候変動質問書における4つの主要分野の質問（ガバナンス、目標、スコープ3排出量算定、サプライヤーとの協働）への回答内容等から評価される。同社はサプライヤーへの働きかけについて高い評価を受けた。

Supplier Engagement Leader
CDP
2024

ヒット商品

母子手帳



第462回

「ハニープラス ブースタージェル」プラス

梅雨時期の髪悩みにプラス1品を提案

ヘアサロン専売品メーカーのプラスは、サロン専売品の技術を活かした処方で開発したヘアケアブランド「ハニープラス」から2022年6月に発売し、シャンプーとトリートメントの間に使用するジェルタイプのプレトリートメント「ブースタージェル」（150mL・1760円）の今夏実績が、前年同期比で約2倍と好調な売れ行きを示している。

同品は髪内部の補修成分「DG（ジグルコシル没食子酸）」を配合したプレトリートメントで、内部繊維（タンパク質成分）と親和性が高く、繊維と結びつき乱れを整えて空洞化を補修し、髪の内側からしなやかでまとまりやすい髪に導くという。

開発段階から携わり、営業とPRを務めるレイナチュラルの鈴木礼子社長は、好調の要因について「梅雨時期になると、空洞化した髪の中に湿気が入り込み、それが髪の広がる一番の原因となる。これを根本的に解決するアイテムがブースタージェルだが、インバス製品は一般的にシャンプーとトリートメントまでしか使用されず、その間にプレトリートメントを併用してもらうのはハードルが高かった。そこで、今年から新たな試みとして、ハニープラスのブランドサイトで定期的にシャンプーとトリートメントを購入されている人に向けてブースタージェルのお得なセットを展開したが、髪が広がりやすい梅雨時期の悩みに応えるアイテムとして支持され、販売数量を伸ばした」と説明する。

ハニープラスでは現在、ブランドサイトで最も売れ筋となっているのが「スムース&リペアシャンプー」の大容量詰め替え（900mL・2376円）で「水以外の全成分中、純度100%の生ハチミツが最も多く、ベビー用シャンプーにも使用されるアミノ酸系の洗浄成分で構成されているため、最近ではファミリーユースの割合が徐々に高まっている」（鈴木氏）という。

今後は、自宅で採取した毛髪を専用の検査キットに入れて研究機関に郵送し、毛髪の健康状態を表す美髪指数などのパーソナルデータやハニープラスのおすすめ商品をオンライン形式でフィードバックする新サービス「ヘアケアドック by ハニープラス」を9月に展開する予定だ。

「ハニープラスでは、商品を広げるというよりもサービスを起点に顧客満足を追求し、そこから継続購買へとつながるようなパーソナル提案に注力していきたい」（鈴木氏）　（之）